

すいさん山形

漁民と手をつなぐ広報誌

No. **389**

令和8年 / 7 月号

山形県漁業協同組合
広報誌



多目的作業船

POSEIDON-1を見学

山形県漁業協同組合では、深田サルベージ建設株式会社が所有する海洋調査船多目的作業船「POSEIDON-1」を見学しました。船内では、海底地盤調査に用いられる設備や安全管理について説明を受け、海洋調査技術への理解を深めました。

今回の見学は、組合員の皆さんに必要な情報を提供し、漁業を取り巻く海域利用への理解を深めることを目的として実施したものです。今後も、組合員の皆さんの漁業経営に役立つ情報の収集と提供に努めてまいります。

第61回 通常総代会 開催



第61回通常総代会は6月23日(火)午前9時30分より本所講堂において総代88名(内17名が委任状出席)の出席と多数のご来賓の萱方、また各関係機関代表者のご臨席のもとに開催されました。

冒頭、本間昭志組合長が挨拶を行い、続いてご来賓の吉村美栄子山形県知事(荒木泰子山形県庄内総合支庁長代読)、矢口明子酒田市長、松永裕美遊佐町長(高橋務副町長代読)、古川智久農林中央金庫山形支店長からそれぞれご祝辞を頂戴いたしました。

次に、吹浦地区の土門拓也氏が議長に選出され第1号議令和7年度事業報告及び損失処理案の承認に関する件、第2号議案 令和8年度事業計画の設定に関する件から第9号議案役員改選についてまで9議案が審議され、いずれも可決承認されました。

令和7年度の事業概要

年度末に勃発したアメリカ合衆国とイラン・イスラム共和国の紛争によるホルムズ海峡封鎖をめぐる緊張は、原油価格の急騰など世界経済にも直結する事態となっています。

燃料費や漁船維持費の高騰が漁業経営を圧迫している事に加えて、クロマグロなど国際的な資源管理の枠組みの中で、日本の漁業者が競争力を維持するためには、新たな技術導入や効率的な漁法の開発が不可欠です。

さて、当漁協の状況は、主要魚種であるスルメイカ、ハタハタ、タラ、サケなどの漁獲量が回復せず、18億8千万円の水揚げ目標を大きく下回る17億9千万円となり、昨年度に引き続き、漁獲数量、生産金額ともに当漁協の歴史上最低の結果となりました。そのため、JFマリンバンク基本方針に基づく組織再編勧告及び資金運用制限により組織再編勧告(信用事業のうち貯金業務の廃止)を受け、貯金口座の解約、公金取扱業務の他行移管が進めています。3月にはJFマリンバンク支援協会からの資金贈与、当漁協の事業構造改革推進に向けた長期、短期貸付の実行が始まりました。加えて、行政による共同利用施設の電気料金の補助、組合員、役職員の収支改善計

① 信用事業

令和7年度においては、今後の漁協経営について総合的に議論を重ね、検討した結果「貯金業務廃止」を臨時総代会にて決議しました。貯金業務については、令和8年3月から本格的な貯金払戻を進め、年度末残高は24億8百万円、平均残高では40億71百万円となりました。

貸出業務については、計画目標を4億70百万円とし伸長融資に努めました。最終的な年度末残高は4億48百万円とな

画の履行が進められ、令和7年度は3百万円の事業利益を計上することが出来ました。引き続き、漁獲物集荷所の廃止を含む組織のスリム化を継続します。更には産・官・学からなる「養殖事業コンソーシアム」を立ち上げ、7つの養殖事業の可能性を模索し、激減する漁獲量、水揚げ金額の減少の歯止めに着手し始めました。

洋上風力発電事業関連では、事業実施者による海底地盤調査を含む指定海域の調査が進められており、それら調査船に対する燃油の供給や海上監視業務に関する用船事務手数料の収入が事業収益を押し上げる要因の一つとなりました。

全国的に見れば他県域事業者の撤退に端を発した事業進捗スピードの鈍化が心配されますが、世界経済に左右されることによる事業利益の減少、これらを打開すべく資金支出の抑制に漁業者が巻き込まれることの無いよう注視しているところです。

天然物の水揚げ高だけに頼らない組合経営を掲げており、水揚げ高にあった事業体制と固定資産保有を見直すなど事業管理コストの圧縮と不採算事業の見直しを進めます。

主な事業活動と成果については次のとおりです。

② 共済事業

り、計画対比95・3%となりました。

総じて、信用事業総利益は11百万円となり、前年度比4百万円の減少、計画比5百万円の減少となりました。

長期共済では、基幹種目である普通厚生共済「チョコー」は推進保障共済金額12億円の計画に対し、実績は9億3千450万円となり、達成率は77・9%となりました。生活総合共済「くらし」は、補償

共済金額4億5千万円の計画に対し、実績は3億6千540万円、達成率は81・2%となり、チョコー・くらしとも事業量計画の達成には至りませんでした。一定の成果をあげることが出来ました。

また、長期共済契約保有実績では、「チョコー」は42億8千170万円、対前年度比88・0%(5億8千520万円の減少)、「くらし」は31億50万円、対前年度比98・1%(6千80万円の減少)となりました。

短期共済では、乗組員厚生共済「ノリコー」は保障共済金額8億2千450万円の計画に対し、7億1千650万円(達成率は86・9%)、火災共済「カサイ」は保障共済金額56億4千410万円の計画に対し、44億6千769万円(達成率79・2%)となりました。

「チョコー」においては、昨年7月に一時払介護共済の制度改正が行われたことで、新規契約の獲得や既存契約の保障の見直しを行うなど取り組んだ結果、一時払介護共済においては44件15・480万円の実績をあげることが出来、これが共済付加収入全体を押し上げる要因となりました。

右記のことから、共済事業総利益は9百万円となり、前年度に対して111・2%の実績率、計画に対しては105・1%の達成率となりました。

③ 購買事業

当組合の主要取扱品目であるA重油の供給数量は、県外小型いか釣船の入港がほぼなかったこと、中型いか釣船の供給も減少し、底曳網漁船をはじめ沿岸漁船についても前年より少ない出漁日数になりました。船への供給が増加し、前年度から987KL増の4,420KL。前年度比128・7%、計画比138・1%となりました。

軽油については重油船の油種変更や工事船への供給もありましたが、重油と同様

に県外小型いか釣船の入港減少が大きく響いたことで前年度同水準の646KL、計画比92・3％となりました。

灯油については企業向けの供給は44KL減少し、個人向けについても前年度より67KLの減少となっております。オール電化住宅の普及や、地域世帯数の減少等が影響し減少傾向にあります。前年度から111KL減の952KL、前年比85・2％、計画比86・8％となりました。

また、潤滑油については前年度同水準の27KLで推移しております。これにより石油類全体の供給数量は6,047KLで前年比115・9％、計画比120・4％となりました。

魚箱類について主要漁業における不漁により最低数量だった前年度より更に6万5千ケースの減少となり、供給数量42万ケースで前年度比86・4％、計画比87・1％の実績となりました。一般資材類につきましては前年度比87・7％、計画比92・8％の実績となりました。

その結果、購買事業総利益は1億74百万円となり前年比128・9％、計画比107・2％の達成率となりました。

④販売事業

受託販売では昨年度に引き続き、今年度の水揚げ数量は2,449トンと過去最低となりました。底曳網漁業はタラ時期の不漁や時化の増加により約28百万円の減、小型いか釣り漁業については日本海で漁場形成されず79百万円の減、中型いか釣り漁業については八戸沖で長期間間漁場形成されたことにより1億49百万円の増。定置網や刺網ではサケの不漁、採介藻漁業はサザエとモズクの漁獲量減少となり水揚げ金額は前年対比27百万円減の17億89百万円と数量同様過去最低となりました。

買取販売では、繰越在庫金額1億円以下を念頭に販売活動を展開してきました。

が、八戸沖での豊漁により漁期中盤から荷動きが鈍化し、最終的に3月末で14,224ケース（1億20百万円）の在庫となりました。鮮魚買取については71百万円の取扱金額となり昨年より2百万円程増加しました。

以上のことから令和7年度の販売事業総利益は1億9百万円となり、前年度対比1百万円の減、計画に対しては15百万円の減、達成率は87・7％となりました。

⑤製氷冷凍冷蔵事業

小型いか釣り漁業への供給については、夏季、冬季ともに県外船への供給が前年に比べ大幅に減少し、前年対比21・0％の供給数量となり、底曳船を主とする地元沿岸漁業への供給は漁場環境の悪化などにより前年対比92・0％と推移しました。

この結果、数量で前年対比80・0％の2万2千本、供給高では前年対比89・1％の49百万円となりました。

製氷事業経費については、電気料金の契約変更など経費の節減に努め前年対比75・0％で推移しました。

その結果、製氷冷凍事業総利益は13百万円となり、前年度に対し181・2％の実績率、計画に対し65・1％の達成率となりました。

⑥加工事業

学校給食事業での販路拡大により前年度対比106・8％の47百万円となりました。また、加工製向け原料販売においては各社の販売が不調となったことや、餌料販売が落ち込み前年度対比86・3％の52百万円となっております。

産直事業「庄内海丸」は桜田店を8月17日に閉店し、城西店一本化を図りコスト削減に努めた結果、販売高は前年度対比87・3％の58百万円と売上を落としましたが、城西店単体では昨年度より6百

万円の売上増の結果となりました。これらにより、加工事業全体の収益は前年度対比92・5％の62百万円となりました。

加工事業直接費は資材等の値上がりや固定費が高む中、コスト削減に努め前年度対比93・1％の14百万円となりました。その結果、加工事業総利益は9百万円の実績となり前年度対比1百万円の減、計画対比同水準の結果となりました。

本年度は在留資格「特定技能」を有する外国人を2名受け入れ、稼働率向上に向けた取り組みを開始しました。

また、本年度も鶴岡市学校給食庄内浜産魚介類利用促進事業において、地場産魚食普及や原料高騰の中でも安定した供給を行うことができました。販路拡大に力を入れ、東根市学校給食への供給を行うなど新規の顧客獲得に努めました。

⑦指導事業

繁殖保護については県・沿岸市町の協力を得て、各種種苗の放流を実施し、資源の増殖及び繁殖保護に努めました（放流尾数 アワビ167,600個、ヒラメ122,000尾、トラフグ及びアワビ0尾）。ヒラメ、トラフグ及びアワビ放流事業について、継続して取り組んでいるにもかかわらず資源状況が悪化する現状を鑑み、回帰率や回収率の向上のための放流通期・放流手法の検討を、引き続き県水産研究所、市町と連携して行っております。特にアワビについては、稚貝の放流通期と適正な放流場所の確保に努めるよう浅海漁業連合会を通じて放流技術の情報共有を行いました。また、放流効果の低下や他魚種への転換も検討しました。

営漁指導では、水産業振興に関する要望事項を取りまとめ、県知事ならびに二市一町首長に対し要望しました。また、「浜

の活力再生広域プラン」「浜の活力再生プラン」に継続的に取り組むとともに、一般社団法人山形県漁業リース協会を運営し、リース事業において漁協事業を有効に利用する事業運営方法により実施しております。また、「がんばる水産業支援事業」を活用し、新たに漁業に就業する漁業者の中古漁船の取得を支援するとともに、既存の漁業者についても水産業の成長産業化に資する漁労資機材の取得を支援しました。

ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業においては、省燃油活動等支援事業及び省資源・利用効率化等支援事業を活用しコスト削減に取り組みました。また、ALPS処理水海洋放出による風評被害によって生じた水産物の価格下落、事業売上減少等による減収にかかる損害について賠償請求を行いました。イワガキ、イガイについては県の検査要領に基づく検査を受け、県産貝類の安全性の確保とそのアピールに努めました。

外国人漁業実習制度については当組合が監理団体となり、実習生の受入れに継続して取り組みました。中型いか釣り、小型いか釣り、定置網、底曳網において、インドネシア研修生18名を受け入れております。

新規漁業者関係事業については今年度3名が研修を実施しました。3名は研修を継続しており、今後、独立や雇用による漁業従事継続を行う予定です。

洋上風力発電事業では、酒田沖について国による適地確認のための調査が実施されておりますが、県に対して決して前のめりにならず、誤解のない丁寧な説明を求めています。併せて当該海域を代々利用している地元漁業者が、洋上風力発電に対して正確に理解するとともに、将来を見据えた判断ができるよう情報の提供に努めました。



組合長就任の挨拶

代表理事組合長 鈴木重作

このたび、当組合の代表理事組合長に選任されました鈴木でございます。ご案内のとおり、昨今の漁業を取り巻く環境は一層厳しさを増している状況にあり、このような苦難の時に、私のような浅学非才な者が組合長に選任されたことは、誠に身の引き締まる思いであり、その責任の重大さを痛感しているところです。更には、現在まで、数々の輝かしい業績を残された本間昭志組合長の後任ということであり、これまでの実績を汚さぬよう全力を挙げて職務に取り組んで参りたいと存じます。

また、今般、非常勤での就任と云うことになりましたが、できる限り執務に励むと共に、専務理事や役員との意思の疎通を密にはかり、組合運営に支障を来たすこと

の無いよう努めて参りたいと思いますので、何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

まずは、総代会でご承認いただきました令和 8 年度の事業計画や第 8 次中期経営計画に基づき、その基本方針を踏まえ、基幹事業である販売事業を軸に計画目標達成に向け役員一丸となって取り組んで参る所存であります。

結びになりますが、新しい体制を軸に組合員の皆様から信頼される漁協づくりを目指し、全力を尽くして参りたいと存じますので、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任にあたっての挨拶と致します。

新役員

代表理事組合長	鈴木重作	新任
専務理事	西村盛	再任
理事	伊原光臣	再任
理事	鈴木徳正	再任
理事	田代善幸	再任
理事	事齋藤守	新任
理事	事榎本敏明	再任
理事	事佐藤誠	新任
代表監事	阿部秀春	再任
監事	事佐藤稔	新任

退任役員

本間昭志	前代表理事組合長
佐藤昭	前理事
飯塚厚司	前理事
池田薫	前監事
本間元幸	前監事

令和7年度 水揚表彰



山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
船凍県外中型船	50t以上	第86若潮丸 石垣漁業(株)	根室漁協
底曳網ほか	15~20t	第28廣徳丸 池田亀五郎	さかた総合市場
	10~15t 未満	萬龍丸 飛塚美和	念珠閣総括支所
		第5平安丸 五十嵐安哉	念珠閣総括支所
		大洋丸 佐藤洋生	念珠閣総括支所
	5~10t未満	第2漁吉丸 阿部清浩	さかた総合市場
はえ縄一本刺	1~3t 未満	福傳丸 阿部昌樹	さかた総合市場
		海成丸 本間金弥	念珠閣総括支所
定置網		龍鵬丸 劔持浩	念珠閣総括支所
採介藻ほか	1t未満	嶺神丸 (有)仁三郎	豊浦支所
		幸進丸 榊原英樹	由良総括支所

水揚優秀船漁撈長表彰

表彰基準	表彰者名	船名
県外船	本間 健	第86若潮丸

酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県外	いか釣	50t以上	第86若潮丸 石垣漁業(株)	根室漁協
県内	底曳網	5t以上	第2漁吉丸 阿部清浩	さかた総合市場
		5t未満	福傳丸 阿部昌樹	さかた総合市場
			齋福丸 齋藤公人	さかた総合市場
	地先業	3~5t	金毘羅丸 讃岐利行	飛鳥支所
		3t未満	第2八栄丸 小林信義	さかた総合市場
			豊幸丸 佐藤秀樹	飛鳥支所
	磯	見	第18寿和丸 渡部和夫	飛鳥支所

鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
底曳網	10t以上	萬龍丸 飛塚美和	念珠閣総括支所
		第五平安丸 五十嵐安哉	念珠閣総括支所
		大洋丸 佐藤洋生	念珠閣総括支所
	5~10t	第二千祥丸 佐藤栄一	由良総括支所
		清徳丸 佐藤清樹	念珠閣総括支所
沿岸	3t以上	第八海運丸 佐藤良太	念珠閣総括支所
		第八十三剛雄丸 鈴木剛太	温海出張所
		海成丸 本間金弥	念珠閣総括支所
	3t未満	龍鵬丸 劔持浩	念珠閣総括支所
		千修丸 本間和憲	温海出張所
定置網		嶺神丸 (有)仁三郎	豊浦支所
磯	見	幸進丸 榊原英樹	由良総括支所
		白山丸 榊原昭夫	由良総括支所

令和8年度 経営改善賦課金・指導事業賦課金の納入について

組合では、組合員の皆さんが安心して漁業を営み、将来にわたり安定した漁家経営を続けられるよう、経営支援や各種研修、情報提供など、さまざまな事業を実施しています。これらの事業は、組合員の皆さんからお預かりする賦課金によって支えられています。

令和8年度の経営改善賦課金および指導事業賦課金につきましては、理事会の承認を受け、下記のとおり徴収いたします。

○経営改善賦課金について

経営改善賦課金は、組合の財務基盤を健全化し、将来にわたり安定した組合運営を行うためのものです。令和7年度総代会において、組合の繰越損失金が解消されるまで徴収することが承認されています。組合の健全な運営は、組合員の皆さんへの継続的な支援やサービスの充実につながりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○指導事業賦課金について

指導事業賦課金は、経営相談や経営改善支援、研修会・講習会の開催、情報提供など、組合員の皆さんを支える各種事業に活用される大切な財源です。令和7年度総代会において増額が承認されており、今後もより充実した事業を実施し、組合員の皆さんへ還元してまいります。

皆さんからお預かりした賦課金は、組合運営だけでなく、組合員一人ひとりの経営力向上や地域産業の発展につながる事業に活用されます。引き続き、組合活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

納入について

徴収対象 令和8年4月1日現在の組合員

納入期限 令和8年9月30日(水)

賦課金額について

	組合員区分	賦課金額
経営改善 賦課金	一律	5,000円
指導事業 賦課金	一般准組合員	5,000円
	一般正組合員	5,000円
	船外機(1トン以上)	7,000円
	5トン未満(船外機除く)	10,000円
	5トン以上20トン未満	15,000円
	20トン以上	30,000円

※トン数は漁船の総トン数による区分です(船外機漁船を除く)。

水産関係団体 令和7年度 事業の概要

日本漁船保険組合 山形県支所

日本漁船保険組合は6月16日に開催された令和8年度通常総代会において、三宅哲夫会長が任期途中の6月30日をもって退任することを表明し、新会長には中林博樹副会長が選任されました。三宅氏は顧問に就任し、新常勤役員として吹上圭一専務が副会長に昇任、後任の専務に田中信夫常務が昇任、新理事の中村公成氏（大分県支所長）が新常務として加わりました。

また、令和8年7月1日付けで山形県支所の運営委員の変更がありましたので、新体制と令和7年度の事業概要を下表のとおりご報告いたします。

○山形県支所 総代・運営委員新体制

総代・運営委員長	伊原 光臣	運営委員	佐藤 稔【新任】	運営委員	西村 盛【新任】
運営委員	佐藤 誠【新任】	運営委員	齋藤 守【新任】	運営委員	齋藤 辰幸
運営委員	榎本 敏明	運営委員	田代 善幸		
運営委員	鈴木 重作【新任】	運営委員	鈴木 徳正		

表1 漁船保険地区別加入実績及び支払実績

支 所 名	在籍漁船	加入漁船	保 険 金 額	純 保 険 料	事故件数	支払保険金	損害率	事故率
念 珠 関	121 隻	103 隻	808,900 千円	12,374,542 円	16 件	15,523,877 円	125.5 %	15.5 %
温 海	35	32	149,870	2,250,763	7	907,430	40.3	21.9
豊 浦	56	50	434,790	6,078,997	10	1,686,511	27.7	20.0
由 良	61	51	390,450	7,648,571	7	2,432,338	31.8	13.7
加 茂	41	28	141,260	2,989,178	2	600,023	20.1	7.1
さかた総合	78	73	839,650	16,439,255	17	10,872,982	66.1	23.3
吹 浦	38	36	154,390	3,101,404	3	615,970	19.9	8.3
飛 島	64	49	186,960	3,705,766	5	1,678,634	45.3	10.2
そ の 他	6	4	1,908,000	5,509,600	0	0	0.0	0.0
合 計	500	426	5,014,270	60,098,076	67	34,317,765	57.10%	15.73%
前 年 同 期	526	440	5,053,590	58,851,754	70	39,488,646	85.34%	16.96%
前年同期比(%)	95.1%	96.8%	99.2%	102.1%	95.7%	86.9%	66.9%	92.7%

* 在籍漁船には山形県漁業協同組合所有船「第18漁連丸」を含む。

* 在籍漁船隻数は、令和8年3月31日現在。加入漁船数は、令和7年4月1日～令和8年3月31日までの累計。

表2 漁船舶主責任保険等加入実績と保険金支払状況

種 類		本年度契約金額		支払保険金		種 類	本年度契約金額		支払保険金	
		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)
漁船舶主 責任保険	基本損害	418	325,300,000	3	7,812,321	漁船乗組船主保険	306	265,000	0	0
	乗客損害	94	39,600,000	1	504,786	漁船積荷保険	0	0	0	0
	人命損害	72	192,000	0	0	プレジャーボート責任保険	222	28,420,000	6	422,788

令和7年度 無事故漁船所有者等表彰

日本漁船保険組合金長表彰

念珠関総括支所	鈴木村豊丸	佐藤 優	さかた総合市場	第二十八宝運丸	進藤 優一
加茂出張所	妙見丸	佐藤 義明	吹浦支所	第八鉄宝丸	石原 洋一



全国合同漁業共済組合 山形県事務所

本県の令和七年度の水揚高は18億64百万円となり、前年度対比で19百万円の減少となりました。主な要因としては沿岸漁業が総じて水揚げ不振となり、特に底曳網漁業、定置網漁業及びいか釣り漁業は水揚げ減少となりました。また、恒常的な問題となつてゐる漁業者の高齢化、魚価安と燃油価格の高止まり状況、海洋環境の変化・担い手不足等も相まって漁業経営を一段と厳しくしております。このような漁業環境にあつて、本年は「ぎよさいと積立ぶらす」の一層の定着を期して普及推進全国運動を展開するとともに、併せて「資源管理・収入安定対策事業」を説明しながら未加入船を中心に推進運動を展開しました。

その結果、吹浦地区の小型合併漁業で2件の契約割合引上がありました。前年度同期比での漁獲共済の加入件数は152件と6件減少となり、共済金額においては前年を大きく下回ることとなりました。

長期にわたる漁業環境、経営環境の悪化が「ぎよさいと積立ぶらす」にその役割と期待を更に大きくするものと思われまふ。

ここにあらためまして、漁業者各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

(令和7年度 21都府県事務所別 実績一覧表)

事務所別引受実績

(単位:百万円)

事務所	本年 共済金額	前年 共済金額	増減
秋田県	779	812	△33
※ 山形県	1,374	1,378	△4
福島県	4,669	4,541	128
茨城県	18,933	19,318	△385
東京都・本所	5,226	5,568	△342
神奈川県	4,305	4,209	96
静岡県	12,733	13,359	△626
新潟県	5,321	5,521	△200
石川県	11,745	11,397	348
福井県	6,506	6,223	283
愛知県	8,237	7,242	995
京都府	4,050	3,820	230
大阪・和歌山	9,150	9,168	△18
岡山県	2,379	2,240	139
鳥取県	11,261	11,110	151
島根県	12,915	12,382	533
山口県	6,943	6,557	386
高知県	25,663	28,075	△2,412
大分県	13,983	16,390	△2,407
沖縄県	8,317	7,796	521
合計	174,489	177,106	△2,617

事務所別支払実績

(単位:百万円)

事務所	本年 共済金	前年 共済金	増減
秋田県	74	43	31
※ 山形県	66	41	25
福島県	31	4	27
茨城県	906	124	782
東京都・本所	50	33	17
神奈川県	54	70	△16
静岡県	107	386	△279
新潟県	161	177	△16
新潟県	264	653	△389
福井県	58	41	17
愛知県	166	43	123
京都府	127	24	103
大阪・和歌山	58	51	7
岡山県	74	43	31
鳥取県	111	164	△53
島根県	241	206	35
山口県	301	140	161
高知県	79	128	△49
大分県	13	28	△15
沖縄県	206	349	△143
合計	3,147	2,748	399

積立ぶらす

(単位:百万円)

事務所	漁業者 積立額	払戻 補填金
秋田県	43	89
※ 山形県	53	141
福島県	166	604
茨城県	560	1,490
東京都・本所	376	444
神奈川県	299	731
静岡県	1,016	1,719
新潟県	445	1,021
新潟県	595	753
福井県	308	554
愛知県	265	331
京都府	192	142
大阪・和歌山	377	301
岡山県	115	48
鳥取県	480	124
島根県	551	676
山口県	352	910
高知県	969	546
大分県	413	104
沖縄県	215	343
合計	7,790	11,071

ぎよさい加入で
安心経営



つなぐちゃん

令和10年6月の通常総代会終了時まで
運営委員長 鈴木徳正

〈運営委員 任期〉

西村盛 (任期中)	伊原光臣 (任期中)	田代善幸 (任期中)	榎本敏明 (任期中)	齋藤守 (新任)	鈴木重作 (新任)	佐藤誠 (新任)
-----------	------------	------------	------------	----------	-----------	----------

〈辞任〉

本間昭志	佐藤昭	飯塚厚司
------	-----	------

運営委員長 佐藤昭志

山形県漁業協同組合理事会の推薦により、次の通り新しく就任・選任されました。

全国合同漁業共済組合
山形県漁業共済事業

運営委員

JF共水連東北事業本部 山形支店

☆JF共済 2025年度加入状況 (単位：件、万円)

共 済 種 類			実 績		保 有	
			件数	共済金額	件数	共済金額
長期共済	チョコー	新 規	94	93,750	762	448,740
		純新規		41,220	—	—
	く ら し		34	38,290	260	318,950
	年 金	新 規	3	9	255	1,862
		増 額	6	10		
短期共済	ノリコー		181	73,850	—	—
	カ サ イ		287	468,539	—	—

☆2025年度共済金支払状況

普通厚生共済 (チョコー)		
満 期	46 件	6,490 万円
死 亡	1	97
入 院・通 院 他	107	1,028
計	154	7,615

生活総合共済 (くらし)		
満期	13 件	1,980 万円
事故	5	112
計	18	2,092

乗組員厚生共済 (ノリコー)		
死亡	0 件	0 万円
入院他	5	164
計	5	164

漁業者老齢福祉共済 (ねんきん)		
年金	147 件	2,376 万円
死亡	1	3
計	148	2,379

火災共済 (カサイ)		
	5 件	826 万円

団体信用厚生共済 (ダンシン)		
	0 件	0 万円

JF共済は2025年度「浜の笑顔」を共済とともに、JF共済3か年計画(2023年度(2025年度)の最終年度として、浜のあんしんサポート運動を主体とした「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」取り組みを実践しました。本県JF共済推進本部は、JF共済の普及拡大に向けた推進活動をはじめ、共済担当職員を対象に各種会議・研修会の充実を図るなど、組合員や地域住民が安心して共済を利用していただけるよう、事業体制の強化に取り組まれました。

その結果、JF共済の基幹種目である生命共済「チョコー」は数量目標に対して達成率が78%となりました。また、建物共済「くらし」は数量目標に対して達成率が85%となり、チョコー・くらし両種目とも目標達成には至りませんでした。一定の成果を挙げることが出来ました。昨年7月には一時払介護共済「あしす」との制度改正が行われ、新規契約をはじめ既存契約の見直しを中心に取り組んだ結果、介護共済の実績がチョコー全体のおよそ半分を占めることになりました。

2026年度はJF共済創設75周年という節目の年を迎えます。『ありがたい浜と歩んだ75年』これからも広がる共済の「輪」という運動スローガンを掲げ、全戸訪問活動を基軸とした「浜のあんしんサポート運動」を継続的に実施するとともに、今年8月からのチョコー制度改正に向けて全ての組合員・地域住民が安心できる保障環境の整備を目指し、JF共済の輪の拡大を図っていきます。

厳しい漁業環境のなか、共済加入等にご協力頂いた皆様に対し、深く感謝申し上げますと共に、次の100年に向けて漁業と漁業者の生活を永続的なものにするため、今年度も積極的な運動展開をして参りますのでご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

山形県JF共済推進本部 運営委員について

本年六月末日を以って任期満了となる運営委員について、令和八年六月二十三日の山形県漁業協同組合の理事会において、次の方々が選任、承認されましたのでご紹介させていただきます。

なお、運営委員の任期は令和九年六月末までとなります。



推進本部会長 鈴木 重作(新任)

運営委員 西村 盛 伊原 光臣 田代 善幸 鈴木 徳正 榎本 敏明 齋藤 守(新任) 佐藤 誠(新任)

事務局長 本間 護

理事会情報

令和8年度第2回 理事会議案

開催日…令和8年5月26日(火)

場所…第一会議室

【協議事項】

1 令和7年度期末監事監査の報告について

2 第61事業年度通常総代会の提出議案について

3 令和7年度 貸借対照表・損益計算書及び注記並びに業務報告書について

4 令和8年度事業計画(案)について

5 第8次中期経営改善計画(案)について

6 令和8年度臨時総会の提出議案について

7 部会の開催について

8 令和8年度資金運用計画(案)について

9 令和8年4月末現在における収支状況について

10 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について

11 貸付金の審議について

12 令和8年度 生産資材等高等緊急対策資金について

13 令和8年度 栽培漁業地域展開促進事業実施計画(案)について

【報告事項】

1 会計検査院における会計実地検査の受検結果について

2 令和7年度 固定資産減損損失の兆候について

3 令和7年度 自己資本比率の状況について

4 令和7年度 税効果会計の適用について

5 組合員の加入・脱退について

6 貸付金利率の改定について

7 役員候補者推薦会議の結果について

8 令和7年度第4四半期の「庄内海丸」の収支について

9 優秀従業員表彰について

10 その他

令和8年度第3回 理事会議案

開催日…令和8年6月23日(火) 第61回通常総会

場所…第一会議室

【協議事項】

1 組合長及び専務の選任について

全国漁業信用基金協会 山形支所

1. 会員と出資金

会員数は新規加入1名、脱退1名により本年度末会員数は52名となりました。また、出資金は新規加入及び口数の増加により200千円増加する一方、脱退会員に対する払戻により350千円減少したことから、本年度末出資金は655,150千円となりました。

2. 保証業務

年間保証計画額100,000千円（漁業近代化資金：80,000千円、その他一般資金：20,000千円）を目標に保証推進を行いました。年間保証引受額は24件88,340千円となり、その結果、本年度末保証残高は104件436,701千円となりました。前年度末対比では、件数1件、保証残高7,983千円増加しております。なお、資金種類別の保証状況は下表のとおりであります。

3. 代位弁済と求償権

代位弁済は発生いたしませんでした。一方、求償権の回収については、求償債務者等の高齢化等により厳しい状況にありましたが、回収計画2,286千円に対し9,602千円の回収実績となりました。また、求償権償却基準に合致した求償債務者1名11件89,296千円の償却を実施いたしました。その結果、本年度末求償権残高は、前年度より12件98,898千円減少し、73件770,466千円となりました。

なお、資金種類別の回収状況は下表のとおりであります。

4. 運営委員（任期：令和8年7月1日～令和11年6月30日）

運営委員	加賀山 祐	運営委員	田子 大樹
運営委員	澤田 健児	運営委員	高橋 修也
運営委員	荒木 茂	運営委員	高橋 友也
運営委員	伊原 光臣	運営委員	田代 善幸
運営委員	齋藤 守	運営委員	佐藤 誠
運営委員	芝田 秀樹		

表1 債務保証と償還状況

（金額単位：千円）

区 分	前年度末保証残高		保証引受額		償 還 額		代位弁済額		本年度末保証残高		
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
漁業近代化資金	69	367,261	14	70,770	17	66,053	-	-	66	371,978	
沿岸漁業改善資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一 般 資 金	金融公庫資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般緊急融資資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	借替緊急融資資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他一般資金	34	61,457	10	17,570	6	14,304	-	-	38	64,723
	小 計	34	61,457	10	17,570	6	14,304	-	-	38	64,723
計	103	428,718	24	88,340	23	80,357	-	-	104	436,701	

表2 求償権回収状況

（金額単位：千円）

区 分	前年度末求償権残高		代位弁済額		求償権回収額		求償権償却額		本年度末求償権残高	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
漁業近代化資金	9	85,223	-	-	1	4,419	1	2,832	7	77,972
沿岸漁業改善資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一 般 資 金	金融公庫資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般緊急融資資金	19	51,231	-	-	49	3	10,160	16	41,022
	借替緊急融資資金	15	286,436	-	-	4,340	1	15,214	14	266,882
	その他一般資金	42	446,474	-	-	794	6	61,090	36	384,590
	小 計	76	784,141	-	-	5,183	10	86,464	66	692,494
計	85	869,364	-	-	1	9,602	11	89,296	73	770,466

人事発令のお知らせ

- ◆新規採用（発令日：令和8年6月1日付） 富樫 俊昌 指導課
◆退職（発令日：令和8年6月30日付） 結城 拓哉〔念珠閣総括支所〕
（発令日：令和8年7月15日付） 丸藤 友奈〔製氷工場〕



指導課
富樫 俊昌

6月より入職いたしました富樫俊昌と申します。総務部指導課に配属となりました。湊町・酒田で海に関わる仕事に携わることができ、大変うれしく思っています。

これまでは介護施設で総務業務に従事し、また短期間ではありますが、乳牛を飼育する牧場で勤務した経験もあります。漁業の仕事は初めてですが、毎日新鮮な気持ちで学びながら業務に取り組んでいます。

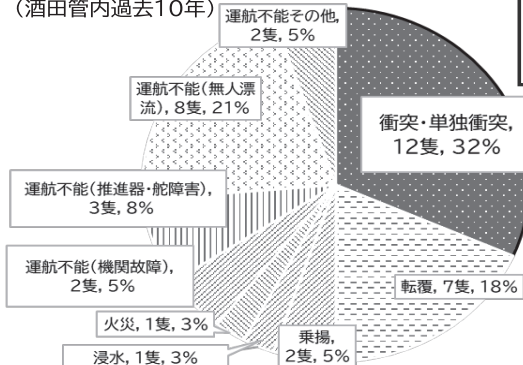
以前から魚釣りや漁業に関するテレビ番組を見ることが好きで、実際にさまざまな魚に触れられる環境で働けることに喜びを感じています。

一日も早く仕事を覚え、漁業者の皆さまや職場の皆さまのお役に立てるよう精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

酒保のMSLだより

小型漁船による衝突事故は見張り不十分によって起きています

20トン未満小型漁船の海難状況
(酒田管内過去10年)



酒田管内における過去10年間の小型漁船の海難は38隻でありそのうち衝突・単独衝突事故が12隻と1番多く32%の割合を占めています。

衝突の原因の92%が
見張り不十分です
見張りをしっかりとすることで
事故を防ぐことができます。

見張り不十分の要因は？



衝突事故を防ぐためには？

◎航行中はもちろんのこと、自動操舵中、漂流中や作業中においても、**目視をはじめとした様々な手段を用いて見張り**を実施しましょう。AIS(船舶自動識別装置)の導入も有効です。

漁船がAISを搭載するメリット

- ☑ 悪天候でも相手から位置確認しやすい
- ☑ 他船の動静をリアルタイムに把握できる

酒田海上保安部

2026 7/16→7/31

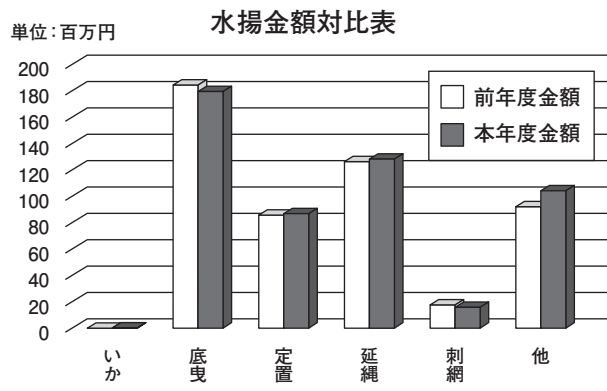
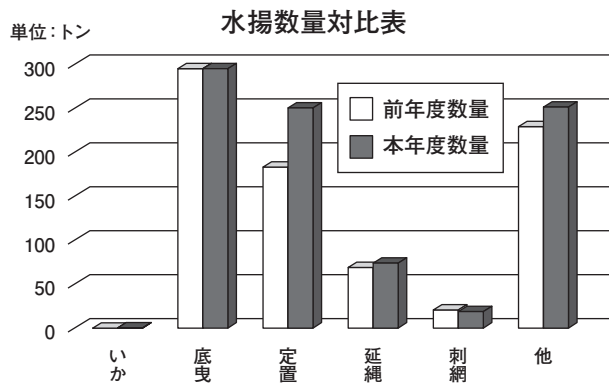
海の事故0キャンペーン実施中

漁業種類別前年度水揚げ対比表

令和8年6月30日現在

(単位: kg, 千円)

	6月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	6月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	124,909	295,183	295,447	▲264	80,277	179,370	184,727	▲5,357
2 刺網漁業	2,287	18,603	20,688	▲2,085	1,610	15,514	17,677	▲2,163
3 いか一本釣漁業	0	0	554	▲554	0	0	514	▲514
4 船凍いか釣漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
5 はえなわ漁業	28,119	73,150	68,707	4,443	47,219	128,587	126,682	1,905
6 ごち網漁業	11,236	13,512	9,564	3,948	5,745	6,885	4,576	2,309
7 定置網漁業	34,915	250,547	183,120	67,427	13,781	87,050	86,037	1,013
8 採貝藻漁業	11,253	38,780	34,553	4,227	14,289	40,586	38,628	1,958
9 その他の漁業	84,009	193,479	181,914	11,565	28,425	51,341	45,788	5,553
10 張網漁業	817	4,489	2,058	2,431	581	2,467	1,196	1,271
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	1,579	3,303	2,043	1,260
合計	297,545	887,743	796,605	91,138	193,506	515,103	507,868	7,235



水揚情報

令和8年6月30日現在

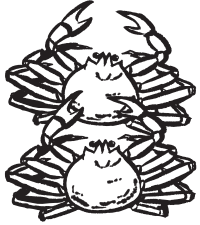
(単位：千円)

支所別 区 分		水揚合計	水 揚 地 内 訳							
			吹 浦	飛 島	酒 田	加 茂	由 良	豊 浦	温 海	念珠関
5月末迄水揚累計		319,875	16,186	12,755	49,112	21,068	74,402	53,114	16,653	76,585
月間水揚	県内船水揚	191,926	16,188	13,454	29,270	13,700	33,974	21,624	7,521	56,195
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	191,926	16,188	13,454	29,270	13,700	33,974	21,624	7,521	56,195
前年同月水揚		211,594	4,683	9,592	29,798	16,913	43,446	31,734	11,454	63,974
本年度水揚	県内船水揚	511,801	32,374	26,209	78,382	34,768	108,376	74,738	24,174	132,780
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	511,801	32,374	26,209	78,382	34,768	108,376	74,738	24,174	132,780
前年度水揚累計		505,826	12,460	19,599	83,350	46,321	99,858	75,603	22,748	145,887
増 減		5,975	19,914	6,610	-4,968	-11,553	8,518	-865	1,426	-13,107
本年度水揚計画		1,800,000	93,000	61,000	510,000	123,000	286,000	183,000	32,000	512,000
達 成 率		28.4%	34.8%	42.9%	15.3%	28.2%	37.8%	40.8%	75.5%	25.9%

今あがっている魚

－ 6月のベストテン －

前年対比 増 ↗ 減 ↘ 変らず →

水 揚 金 額 (千円)				漁 獲 量 (kg)			
1	ま ぐ ろ 類	47,296 ↗		1	べ に ず わ い	66,590 ↘	
2	するめいか	42,543 ↘		2	するめいか	57,514 ↗	
3	ほっこくあかえび	12,352 ↘		3	ま ぐ ろ 類	28,181 ↘	
4	た い	11,590 ↗		4	た い	23,134 ↗	
5	か き 貝	10,375 ↘		5	あ じ	12,123 ↗	
6	べ に ず わ い	9,323 ↘		6	ぶり・いなだ	11,745 ↘	
7	も ず く	7,186 ↗		7	ほっこくあかえび	7,732 ↘	
8	あ じ	5,508 ↘		8	か き 貝	7,279 ↘	
9	ぶり・いなだ	4,640 ↗		9	その他のばい類	6,532 ↗	
10	さ ざ え	3,331 ↘		10	さ ざ え	5,359 ↘	
			月間MVP				月間MVP

◇今年度より本格的に始まった貯金業務廃止に伴う口座解約や貯金払戻し、公共料金等の引落口座の切り替えにつきましては、多くの利用者の皆様にご理解とご協力をいただき、職員の一人として心より感謝申し上げます。残りわずかな期間となりましたが、最後まで気を引き締め、一つひとつ丁寧に窓口業務に取り組んでまいります。

◇さて、話は変わりますが、私が漁協へ入職してから一年が経ちました。この一年は私自身にとっても大きな変化のある一年でした。漁獲量の減少をはじめ、漁協を取り巻く環境も大きく変化しました。そのような中で、貯金業務廃止という大きな決断がなされ、組織が置かれている状況を改めて実感しました。

私は生まれも育ちも山形で海の近くで暮らしてきたこともあり、水揚げ量の減少について耳にする機会はありました。しかし、実際に組織の一員として構造改革に携わる中で、その影響の大きさと現状の厳しさを身近に感じています。

今後海洋環境の変化に伴い、漁業を取り巻く状況は変わり続けていくと思います。私自身、まだ学ぶべきことは多くありますが、一日でも早く力になれるよう努力を重ねてまいります。そして、これからの漁協を支えていくためには、組合員の皆様と職員が力を合わせていくことが何より大切だと感じています。皆様とともに知恵を出し合い、この変化を乗り越えていけるよう頑張ってまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

◇梅雨も終わりに近づき、いよいよ夏本番を迎えます。私も夏の暑さの厳しさを日々実感しています。漁業者の皆様も職員の皆さんも、屋外での作業では無理をせず、ごまめな休憩と水分・塩分補給を心掛け、熱中症対策を万全にして、この夏を元気に乗り切りましょう。

◇すいさん山形は組合員の皆様と情報、話題を共有し合い、時には励みになれるような広報誌を目指しております。今後とも共有したい情報等ありましたら、気兼ねなくご提供くださいますようお願いいたします。

由良総括支所 高橋 七海

編集
後記

「組合員のため」が「組合のため」に

備えて安心!

新 チョコー発進



2026年8月 主な制度改正内容

グレードアップ
1

選べる医療保障

充実した
200日型
掛金の低廉な
60日型

医療共済 

グレードアップ
2

がんにも備える

がん診断共済金
新設!

生活習慣病特約

女性疾病入院特約

グレードアップ
3

骨折にも安心

骨折給付金
新設!

通院特約

グレードアップ
4

必要な保障を
手頃な掛金で

通減定期特約
新設!

終身共済

グレードアップ
5

万一に
一生涯備える

一時払終身共済
新設!

かけはし

一時払終身共済